昭和廿八年十月復刊

広島女学院報
HIROSHIMA JOGAKUIN NEWS

昭和七年六月創刊
広島女学院報
第 191 号　2020年10月20日
学校法人 広島女学院発行
〒732-0063　広島市東区牛田東四丁目 13-1

コロナ禍の中で

広島女学院中学高等学校校長
渡辺　信一

広島女学院は10月１日に１３４周年の創立記念日を迎えました。この長い年月、女学院を愛して下さった多くの方々とともに、喜びをもってこの日を迎えられたことを心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大したため、中高は３月から臨時休校の措置を取りました。４月７日に中学入学礼拝を実施しましたが、中１は５日間の登校、他学年は３日間の登校の後、５月末まで休校としました。この期間、「生徒をひとりにしない」ことを大切にし、オンライン授業を進め、担任も毎朝健康チェックを行うだけでなく、「つながり」が感じられる取り組みをしました。湊晶子院長先生が常々言われている「ぶれない軸を持つ」ということばを支えに、様々な変更が余儀なくされる中でも、生徒の安全が一番であり、一人ひとりを大切にすることの真の意味を考える期間となりました。

６月初めから学校を再開しました。２週間の分散登校、その後も段階を経て、現在では放課後の部活動等含め以前のような学校生活に近い形となってきました。中高ではコロナ禍にあっても毎朝教室で放送による礼拝を守り、聖書のことばに触れ、お祈りを捧げて一日が始まっています。しかし、讃美歌を歌えない期間が数ヶ月に及びましたし、全校生徒がゲーンスホールに集まることもできません。クリスマス礼拝をどのような形式で行うかも検討しなくてはなりません。また、平和教育やグローバル教育でも大きな影響が出ており、碑めぐり案内や署名活動のような奉仕活動が行えません。海外含め多くの人々が来校し、その出会いのなかで大きく成長していた機会もなく、海外研修もすべて実施できません。このように様々な機会が失われているのも事実ですが、限られた状況のなかにあっても常に何かに挑戦しようとする生徒の姿があり、そこに希望を見い出しています。

「わが子よ、主の鍛錬を軽んじてはいけない。主から懲らしめられても、力を落としてはいけない。なぜなら、主は愛する者を鍛え、子として受け入れる者を皆、むち打たれるからである。」（ヘブライ人への手紙12章５・６節）

今与えられている状況は、広島女学院が過去に与えられた試練に比べれば大きいものではないかもしれません。しかし、大学、中高、幼稚園、それぞれの場に集まりつながり合って、学生・生徒・園児は成長していくはずであるのに、「密」という問題に直面すると、集まること自体が危険であるという、過去に経験したことのない状況に私たちは置かれています。それでもなお、女学院に連なる者が「ひとりにならない、ひとりにさせない」ための働きができるよう常に神さまの前に頭を垂れ、祈る者でありたいものです。

９月となり、１学年のみゲーンスホールに集まり、礼拝で生徒の感話を久しぶりに聞きました。中３生は新型コロナウイルス感染者に関わる差別の問題について考え続けることの大切さを、高１生はＩＣＴを利用した出会いがそれまで苦手だったものに挑戦する機会を与えてくれたことを話してくれました。対面で礼拝の時間を持ち、生徒の話に直接耳を傾けるという、コロナ以前では当たり前だったことの価値をしみじみと感じることができています。

高校１年生の学年礼拝の様子

大学 University

男女共同参画への取り組みについて

「男女共同参画推進事業者」として
広島市より学院が表彰される

少子高齢化による労働力不足が年々懸念される中で、性別に関わりなく能力を発揮できる社会を構築する試みは日本に於いても長年提唱されてきましたが、2019年の「ジェンダー・ギャップ指数」は世界153カ国中121位に留まっています。

そのような中で広島市は15年前から市長が中心となり、女性の能力発揮や職域拡大、仕事と家庭・地域活動との両立支援等と積極的に取り組み、「他の模範となる事業者」を表彰し、更なる発展をサポートして来られました。第15回目の今年は、広島電鉄株式会社等7社と学校法人からは広島女学院が選ばれ、去る6月26日（金）広島市役所本庁舎市長公室に於いて表彰式が行われ、松井一實市長から表彰状が授与されました。

本学院は次のような取り組みが評価の対象となり表彰されました。全従業員に占める女性の割合が62％であり、管理職に占める女性が平成31年4月には50％になったこと、配偶者の出産休暇を産後2週間内において3日を付与する制度を策定、平成28年度及び29年度において取得実績があること、また、育児休業期間中に昇給期がある場合は、復職時に昇給が可能となる人事管理制度を導入していることなどが評価の対象となりました。

受賞式後に各代表者（男性6名、女性2名）から謝意が述べられました。私は60年前に仕事に就き、各種法律を世に出すために土井たか子さん達と共に働き、各種法律が出来た時には子供達は成人していた等苦労の足跡に触れ、広島市が15年に亘ってこの様な対応をして居られたことに心からの謝辞を述べさせていただきました。

世界におけるジェンダー指数の順位をせめて二桁に挙げるためには、男性の意識改革も必要ですが、自立した女性が育たなければならないと思っています。本学院における女性の一生涯を視野に入れた「人格教育・ぶれない個」を確立する教育こそがそれを実現する原点であると確信しています。今年度大学の教育管理職（学部長及び学科長）が副学長を除いて全員女性になったことは、私が60年前に最初の大学に就職した頃には考えられないことでした。このような賞を戴けたのは、本学院の理事会・評議員会・教職員の皆様のジェンダー意識が高いことを意味します。今後ますます社会に貢献できる女性を輩出する女学院として充実することを心から期待しています。

（院長・学長　湊　晶子）

新型コロナウイルス感染症への対応について

2月以降全国的に感染が拡大する中、本学は各部署の代表者によって構成されるコロナ対策委員会を立ち上げ、学生・教職員の安全、学生の学修機会の確保及び継続を最優先課題として対応しています。

卒業礼拝と卒業証書・学位記授与式及び入学式は大変残念でしたが取りやめとなりました。

前期の講義は、夏休みの短縮や分散型による対面授業の実施を検討しましたが、国の緊急事態宣言等を受け、5月11日（一部は4月末）から、遠隔授業を行いました。初めての試みであり、学生、教員ともに戸惑うことが多々ありましたが、なんとか実施することができました。また、構内への立入制限など感染拡大防止を徹底しました。緊急事態宣言解除後、6月8日からは学生への衛生指導を行いながら実験・実習等について一部対面授業を再開するとともに、PCルームの使用や、制限付きではありますが学生活動の再開など徐々に制限を緩和してきています。一方で、「新しい生活様式」の徹底を呼び掛けています。

学生の学修支援については、遠隔授業準備等のため全学生に3万円（保護者の元を離れている学生には5万円）を前期のうちに支給いたしました。また、コロナ禍による家計急変への対応として、前期納付金納入期限の延期、収入が激減する見込みの世帯対象に授業料減免措置を行っています。あわせまして、国の高等教育修学支援新制度、学生支援緊急給付金制度などを活用し、学生が学修を断念することが無いよう支援を行っています。

後期の授業は感染状況により、適確に対応する必要がありますが、3密の回避、遠隔授業の質の向上、機材の充実など前期での経験を活かし、より良い学修環境を提供できるよう検討してまいります。

（大学事務局長　本廣　賢吾）

書籍『TBLを文系座学科目に—チーム基盤型学習で理解を促進』を出版して

２０２０年３月に、大学教育出版より書籍『ＴＢＬを文系座学科目に－チーム基盤型学習で理解を促進』を発刊しました。

本書は、大学の文系座学科目にＴＢＬ（Team-Based Learning：チーム基盤型学習）を取り入れた授業を紹介しています。授業内で生じる問題の克服を目指し、改善と効果検証を繰り返してきたアクション・リサーチの過程をわかりやすくお伝えできるよう心掛けて書き上げました。私の専門分野、英語教育学に関連する専門科目の取り組みを扱っていますが、専門知識の習得、概念の理解を主な授業目標とする座学科目を、何とか変えたい、工夫を加えたいとお考えの大学教員を主な読者と想定しています。

また、授業の改善を試みた結果を、研究成果としてどのように形にするかという、一研究者としてのそのプロセスもお楽しみいただければと思います。残念ながら今年度は遠隔授業の制約などで、ＴＢＬを行うことはできませんが、授業に工夫を重ねるアクション・リサーチの手法について役立てていただければ幸いです。

書籍を単著で出版するのは私にとって初めての経験ですが、同僚や学生の皆さんには多大なご協力をいただきました。この場を借りて感謝申し上げます。

（国際英語学科 准教授　関谷 弘毅）

今だからこそ出来る学びを

—日本文化学科のコロナ対応—

４月のオリエンテーション時に、新入生の皆さんへ、ニュートンがヨーロッパでのペスト大流行下において多くの科学史に残る大発見をしたという逸話を紹介してから、はや半年が経ちました。

結局、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、日本文化学科においては前期の殆どの授業が遠隔での実施となりましたが、正直、コンピュータースキルという点では、全学年、目覚ましい進歩があったと実感しています。

この背景には、本学科では１年次よりGoogleの様々な機能が使えるようになることを徹底してきたことが１つの要因として挙げられます。２、３年生は勿論ですが、１年生につきましても、７月１日と15日の２日間、３グループに分かれて、コンピューター教室で、実際にパソコンを開き、ドキュメントやスライドの使用方法を学びました。

その成果は「初年次セミナー」や「キャリアプランニング」のプレゼンテーションコンテンツ作成において顕著でしたし、上級生においても「メディアリテラシー」をはじめ、多くの授業での工夫を凝らした提出物から窺えるところでした。今後、ますます社会全体のオンライン化が進むことが予想される中で、このようなコンピュータースキルを活かし活躍してくれること、また、どのような状況下にあってもそれを前向きに捉えなおし、力強く邁進してくれることを願ってやみません。

（日本文化学科長　足立 直子）

1年生登校日の様子

デザイン系実習、地域連携・産学連携の模索

コロナ禍において、講義科目が４月下旬から遠隔で実施される中、生活デザイン学科では６月からデザイン系実習科目を対面で実施しました。学生、教員ともに対面で実習ができることに安堵しつつ、衛生管理のほか、３密回避のために２つの教室を使っての実習実施、着席した学生に教卓にいる教員の手縫いの様子が見えるようにリモート用カメラで撮影した映像をその場でスクリーンに投影するなど、試行錯誤の連続でした。住居・建築設計実習Ⅱ・Ⅳでは学生が制作した図面と模型を取り囲んで行う従来型の講評会は実施できないため、発表学生と教員のやり取りを撮影し、インターネットでライブ配信し、学生たちが教室のスクリーンやパソコンのディスプレイでその様子を見るというスタイルを取りました。

学科の地域連携・産学連携プロジェクトも前期は思うように活動できませんでしたが、２０１７年度から毎年取り組んでいる西條鶴（東広島市）の日本酒ボトルのラベルデザインは今年も依頼をいただき、学生たちがラベルデザインに取り組みました。また、昨年度から始まった呉市音戸町の地域連携活動では地域の小学校や幼稚園での教育活動に９月から参画予定です。

（生活デザイン学科長　小林 文香）

住居・建築設計実習Ⅱの講評会の様子

なりたい管理栄養士像の実現にむけて
～新しい授業方法で実験科目をスタート～

　昨年度実施された、第34回管理栄養士国家試験の合格率は97.2%となり、7年連続で97%以上の高い合格率を維持しています。管理栄養学科では、1年次からキャリア教育を開始し、学外での臨地実習や課外活動、就職活動などを通して学生達がなりたい管理栄養士像を実現できるよう支援しています。管理栄養士の資格取得はゴールではなく、新たなスタートです。卒業生が、社会で多くの人々のために貢献してくれることを願っています。

　また、今年は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、前期授業は遠隔で行われることになりました。2年生の実験科目については、6月下旬から対面授業を再開し、三密を回避するために、1クラスの人数を半分に減らし、学生や教職員はフェイスシールドを着用して臨みました。学生たちが新しいルールを受け入れるまでの間は、事務職員の皆様にも衛生管理の見守りにご協力をいただきました。学生たちが落ち着いて授業に取り組んでくれたことに安堵すると同時に、共に学べることの喜びを再認識する機会となりました。今後も試行錯誤は続きますが、学生の教育機会の確保と衛生管理を両立して参ります。

（管理栄養学科長　市川 知美）

実技系科目の新しい地平

　コロナ禍の影響で、現場での教育実習の予定が次々にずれこみました。けれども、保育士資格や幼稚園・小学校教諭の免許に必要な実技系科目は、予定通り前期に遠隔実施し、学生の経験に半期間の空白を作らないことを目指しました。

　大学はweb環境の調査、学科は鍵盤楽器の保有や演奏環境についてアンケート調査を実施し、教具の準備を促したり、下宿生への自主練習日を設けたりしながら、表現遊びや音楽、図画工作、体育等の授業を行ってきました。すると、遠隔学習を通して、新しい地平が見えてきました。

　まず、学生がモデルとなる実技動画を停止しながら繰り返し見て自分のペースで学習するスタイルに変化しました。また、教員は動画配信サイトから、視聴回数を知り、学習状況や学生の関心の状況を把握することができるようになりました。

　次に、提出物が録音や録画となることで、学生自身が客観的に自己の表現や作品を捉えなおす機会ができました。

　発表に対する批評が、学生へのコメントとして配信され、消えない形に変化したことも成果の一側面と言えます。もちろん協同での学びあいに関する課題もありますが、新しい地平を知ったことは成果と言えるでしょう。

（児童教育学科長　森保 尚美）

学生の演奏動画（課題）

学生の表現動画（課題）

学生の運動動画（課題）

2020年度春季宗教強調週間
「キリスト教主義教育の神髄」

　今季宗教強調週間は、目下の状況がもたらす影響により、根本的な変更を強いられての実施となった。学生の登校自粛が続き、授業も遠隔で行われる中、毎週のチャペルプログラムである「キリスト教の時間」は、どうにかして学生への励ましや慰めを届けることを願って、4月20日(月)の週よりyoutubeを介したオンデマンド配信の形式で開始、継続されたが、宗教強調週間特別講演会も必然的に同様の形態をとることとなった。この決定とともに、県をまたいでの移動が制限下にあった状況も踏まえ、講師を予定していた広渡純子先生(九州ルーテル学院大学学長)をお招きすることは困難と判断し、急遽、湊晶子院長・学長先生にご講演をお願いしたところ、状況対応のためのご多忙やご心労を抱えていらっしゃる中、即時のご快諾を賜ったことは深い感謝であった。

　結果的に、湊先生によるご講演は学生たちにとって、また、教職員にとって、「今・ここ」にあって必要なことばとして響き、神のくすしきご配剤を実感することとなった。『海の向こう側から学んだこと』と題して語られた、若き日から現在に至るまでの先生の生き様と、それを貫く人生哲学（というよりも信仰）は、視聴する者の心をとらえ、「今・ここ」を自ら担って生きる歴史的存在としての自己の立ち位置を問われると同時に、深く温かい慰めを与えられるものであった。

　映像の配信にあたってご協力くださった皆様（とくにユニバーサルな視聴環境を整えるため宗教センターにて行った字幕作業は必須ながら労力のいるものであった）、視聴して豊かな反応を返してくれた学生たち、そして何より素晴らしいご講演をプレゼントしてくださった湊晶子先生に、心より感謝したい。

（大学宗教委員長　澤村 雅史）

中学・高校

Junior high school & High school

新型コロナウイルス感染拡大防止対策下における中高の対応

２０２０年２月27日夜、日本政府が全国の初等・中等教育機関に対し、３月２日より春休みまでの臨時休業要請を受け、本校でも３月19日までを臨時休業としました。しかし、この措置は解除されず、引き続き３月20日から４月７日まで休校が続きました。この時期は中高ともに卒業礼拝があります。例年とは異なった形でも温かく卒業の門出を祝いたいという思いから、一部形式を変更したものの、予定通りの日程で実施しました。また、新年度の中学入学礼拝も規模、プログラム自体は縮小しましたが、渡辺信一校長が新入生全員に対し「入学宣言」を行ないました。

新年度となり、ほんの３日間ほど新しいクラスで過ごした後、４月13日より再度の休校。結局５月末までの３か月間にも及びました。その間、授業を始めとする学校生活が失われたままでよいはずもありません。渡辺校長は、「生徒をひとりにさせない」ことを念頭に、３年計画で考えていたＩＣＴ教育を休校期間中に可能な限り進める方針を打ち出しました。

ＩＣＴ担当教員の丁寧なサポートのもと、授業に関しては各教科会が互いに協力し合い、各担任はオンライン上でも生徒一人ひとりとつながる等、日を追うごとに本校のＩＣＴ教育は着実に進歩しました。

生徒支援部では閉塞感を抱える生徒・保護者の一助となるよう、様々なオンライン企画を実施しました。また、教員の在宅勤務を可とし、リモートワークも進みました。

６月より学校が再開し、校舎にはいつものように生徒の声と笑顔があふれて喜ぶ一方で、「学校の新しい生活様式」をどのように構築するのか、現在でも試行錯誤の毎日です。授業、昼食時間、掃除、部活など挙げればきりがなく、一つひとつに感染予防対策が必要です。それだけでなく、諸行事も中止や変更を余儀なくされています。しかし、聖書にあるように、「人間として耐えられないような試練」はなく、「逃れる道が備えられている」と信じ、本校にとっての「道」を模索しながら進めてゆきたいと思います。

（高校教頭　高見 知伸）

臨時休校下における生活サポート企画

コロナ禍の状況下、如何にして生徒の学力保障をしていくかが喫緊の課題であり、中高ではオンライン授業の取り組みが加速度的に進みました。しかしその一方で、生徒の学びの空間となる「家庭での生活」を支えることも学校の重要な役割です。折しも、カウンセラーの先生からは、生徒だけでなく保護者の生活リズムも変わることが、家庭内でのストレス増にも繋がる可能性があるとの指摘もありました。そこで生徒支援部では「生活サポート企画」と題して、休校中の生徒・保護者に様々な情報やコンテンツを配信することにしました。その際に、以下の点を考慮しました。①コロナ下での生活に関する情報の提供　②身体性を伴うものや没頭できるものの提案　③生徒だけでなく保護者も共に楽しく作業できるもの　④学校との繋がりを感じることができるもの、の４点です。これらの方針を明示した上で教員からアイディアを募集しました。

まず、先行きの見えない状況での精神的な不安を解消するために「カウンセラーからの手紙」を２回に渡って配信しました。一回目は生徒宛て、二回目は保護者宛てです。読みやすいようデザインも整えました。その他にも体育科と音楽科によるラジオ体操の動画、美術科からはアートセラピーのひとつである「塗り絵（コロリアージュ）」の提供、数学教員からは「覆面算」等を配信しました。また、「保健だより」や「図書館だより」等も生活サポート企画として提示しました。

ラジオ体操

これらの企画の成果は数値化こそできませんが、保護者の方から感謝の電話を頂いたり、生徒の話題に上ったりするなどしたようです。「いつでも繋がっているから安心して」という学校からのメッセージを少しでも感じ取ってもらえたのであれば目的は果たせたと言えるかもしれません。

（生徒支援部部長　川鍋 元広）

臨時休校中のＩＣＴの活用

休校・分散登校の期間中はGoogleの学習支援サービスをフル活用し、授業をすすめました。授業を動画配信(YouTube)やオンラインミーティングで行う→課題配信・提出→教員がチェック・添削→生徒の質問に答えたり理解が不十分と思われるところを再度授業する、などして学習をすすめました。この他にもオンラインミーティングでの質問会や1対1での英語の発音チェック・英会話練習など、教科・教材・生徒の理解度などに合わせて、様々な形態のオンライン指導を行いました。

授業以外でも、クラスごとのＳＨＲや、学年集会、クラブのミーティングもオンラインで行いました。年度初めの休校であったため、クラス内を小グループに分けてオンラインでコミュニケーションをとるなど生徒同士の関係作りも心掛けました。また、担任は日々の健康チェックを行ったり、生徒一人ひとりに対してメッセージを送ったりして、学校との繋がりを保つことができるよう取り組みました。

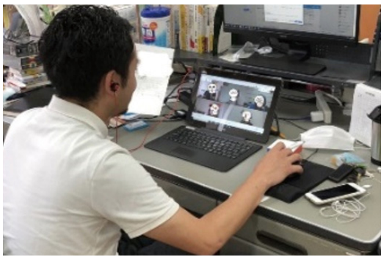
YouTubeを利用した動画配信授業

（ＩＣＴ機器係　田中 佑真）

臨時休校中の新入生への取り組み

入学後、5日間だけの登校を経て、5月末まで臨時休校となりました。この中1から一人1台PCを持っており、休校期間中PCを活用し、生徒の学習面や生活面をフォローしました。授業も配信しましたが、特に、次の2点に力を入れて取り組みました。①生徒同士、生徒と教員のつながりをつくること。②生活のリズムを定着させること。①は各クラス週2回程度のオンラインミーティングを持ち、生徒同士、生徒と担任で話をする機会をもちました。②は授業がある時と同様の起床・就寝・学習時間で生活するように指導し、生徒はオンラインで報告しました。担任は点検後、生徒へコメントを返し生活リズムを確認しました。これらの取り組みが6月以降の生徒のスムーズな学校生活へつながったと感じています。

（中1学年主任　國岡　健太郎）



オンラインで生徒と面接する様子

臨時休校中の高3受験生への取り組み

新型コロナウイルスの影響による休校中、高3生はオンラインを中心に授業を行ってきました。また、学年のGoogle Classroomを活用して、生徒たちとのつながりを大切にしてきました。毎朝、一言、学年会の教員がストリームに投稿する「学年団礼拝」は好評でした。「今日の礼拝のコメントが心にぐっと響きました」とか「先生たちのメッセージに勇気づけられながら毎日の勉強、頑張っています！」などといったコメントが寄せられました。その他、Googleのビデオ会議システムを活用し、「Meet de ミート」と題した学年集会も実施しました。毎回、100名前後生徒が参加し、盛り上がりました。（写真はそのひとコマ。）

休校が空けて3カ月が経とうとしています。いよいよ2学期開始。初の共通テストに向け、ラストスパートの時期です。今後も予測不可能な状況が続きますが、「Chest up!」というゲーンス先生の言葉を胸に、頑張っていこうと思っています。

（高3学年主任　那須　泰）

Meet 学年集会 カメラに向かって手を振る学年会

夏のオープンスクール オンライン るんるん♪女学院

毎年6月に行うオープンスクールは、小学生の皆さんに来校してもらい、様々なプログラムに参加してもらっていました。しかし、今年はコロナ感染症予防のためオンラインで行うことになりました。このような形でのオープンスクールは初めてでしたので、画面上だけで女学院の魅力が十分に伝わるのかという不安を抱えながら準備を始めていきました。

プログラムの内容は学校紹介動画、リアルタイムでの生徒と教員による質問回答、受験に向けてのメッセージ、教員によるパプリカダンス動画でした。例年に比べると私たちの一方的な情報発信となりましたが、小学生のみなさんに直接会えないからこそ、もっともっと伝えたいという思いが強くなりました。

また、今年はオンラインでの実施でしたので、事前に何度かリハーサルを行いました。そうすると様々なアイデアが出て、内容もより良いものになっていきました。手伝ってくれた高校生たちも小学生のみなさんにより楽しんでもらえるようにと、自主的に準備をすすめてくれました。

実際に申し込みが始まると、オンラインでの実施にも関わらず、450名を超えるたくさんの方が申し込んで下さり、いつの間にか不安も小さくなっていきました。

当日は大雨の影響も心配されましたが、無事に実施することができ、私たちにとってもとても良い経験となりました。終了後に行ったアンケート結果を見ると、学校紹介動画やリアルタイムでの生徒の質問回答を見ていただいたことで、「実際に女学院へ行ってみたい！という気持ちが高まった」と感想を寄せて下さる方が多くいらっしゃいました。小学生のみなさんのこのような声を頂き、とてもうれしく私たちも励みになりました。教員によるパプリカダンス動画では、女学院のアットホームな様子や学校の楽しさも伝わったのではないかと思います。そして、今回のようなオンラインでのオープンスクールは、密を気にせず、遠方の方にも気軽に女学院を知ってもらえる良い機会にもなったと思います。

秋に実施予定のオープンスクールでは、ぜひとも学校に来ていただき、もっともっと女学院を知ってもらえたらと思っています。そして直接小学生のみなさんの笑顔を見ることが出来る日を心待ちにしています。

今回の「夏のオープンスクール オンラインるんるん♪女学院」の実施に伴い、ご協力してくださった多くのみなさん、どうもありがとうございました。

（広報部　中元　深雪）

平和を祈る週（6／29～7／4）

今年の平和を祈る週は、ホームルームでの特別礼拝に代えて、月下星志牧師（広島東部教会牧師、本年度高2聖書科非常勤講師）より、平和をテーマに放送での礼拝メッセージをいただきました。

月下星志牧師

中学礼拝では、沖縄で出会った平和のために闘っているおじい、おばあたちが意見の合わない相手とも対立するのではなく向き合い、話し合える関係を築いている姿を紹介し、「イエスが『平和を実現する者は幸いである』と語られた丘からは、オリーブ畑やブドウ畑、ガリラヤ湖という神が与えられた命を育む自然と共に生きる光景が2000年前と変わらず広がっている。一方で今も昔も、強さを誇り、命を削り合う現実がある。だれもが持つ弱さを互いに補い合い、支えあう繋がりこそが、イエスの語った平和であり、どんな時代においても最強のものではないか。」と語られました。

高校礼拝では、メジャーリーグ初のアフリカ系アメリカ人選手、ジャッキー・ロビンソンが契約時に監督から、「やり返す勇気よりも、やり返さない勇気を持つ」という約束を交わしたことを紹介し、「彼らはどんなことがあっても、やり返さず、野球で結果を出すことで、人種差別の壁を乗り越える闘いをした。やり返さない勇気とは辛抱すること、目的のためにあえて辛さを抱えること。イエスもまた、捕えられて、侮辱され、十字架にかけられても決して人を恨むことなく、辛さを抱え、神が望むこととは何か、この世で人と人が共に生きるために何が必要かを考えた。人の辛さを想像し、共に担う繋がりの中に、喜びが生まれ、平和な社会になっていくのではないか」と語られました。

中学礼拝委員会では、千羽鶴をつなぐ作業は密になるから透明ケースに入れ、女学院原爆慰霊碑に捧げることにしました。また、昼の集いの代わりに放送で、中国新聞の連載記事「平和を奏でる明子さんのピアノ」を朗読しました。アメリカから海を渡り、広島の原爆で傷つき、この7月からリニューアル開館された爆心地に一番近い被爆建物、平和公園のレストハウスに展示されることになった被爆ピアノは、19歳で被爆死した広島女学院の先輩、河本明子さんの遺品です。遺された21冊の日記からは、生徒たちと同じ年代の音楽好きで勉強熱心な少女のありふれた日常が、戦争によって奪われていく様子が伝わってきました。

高校宗教委員会では、明子さんの被爆ピアノによる演奏と、イタリアのコロナ医療支援の曲を放送で流しました。また、国境なき医師団を通じ海外のコロナ医療支援の募金、国内ホームレス支援団体に送る不要マスク収集を行いました。

生徒たちの創意工夫に励まされて、今年も豊かな学びと活動の1週間を与えられたことを感謝したいと思います。

（宗教教育委員会　刀祢館 美也子）

8・6平和記念礼拝（被爆75周年）

毎年8月6日午後に、中1、中3、高2の生徒が出校し、講師の先生をお迎えして多くの来訪者の方々と共にゲーンズホールで捧げられる「8・6平和記念礼拝」も例年のように行うことはかないませんでした。

今年は在宅でオンラインで、8時15分に黙祷を捧げ、平和記念式典の一部を視聴した後、事前に録画していた礼拝に参加しました。中学YWCA部のハンドベルによる前奏に始まり、高校音楽部による讃美歌、湊晶子院長先生の式辞、在校生代表の高2の黒川美羽さんによる追悼のことばなど、午前中に行われている広島女学院平和祈念式に準じたプログラムで、女学院の生徒・教職員350余名をはじめとする原爆の犠牲となった方々を追悼し、平和を祈る礼拝を捧げました。

なお、このオンライン礼拝は、卒業生も視聴可能とし、200人以上が参加。久しぶりに礼拝に参加できた喜びや、女学院で学んだ平和の大切さを周りに伝える使命を思い出せたなどという声をいただきました。

（宗教教育委員会　刀祢館 美也子）

高3引退発表会

今年度は新型コロナ感染症の影響により、体育系部活動の対外試合や、音楽系部活動の校外での演奏会の多くは中止となりました。また、残念ながら文化祭も中止となりました。そこで高3まで一生懸命に練習を積んできた生徒のため、引退発表会として一学期末から二学期初めの期間に、日頃の練習の成果を発表する場を設けました。どれも密を避け、本校生徒と部員の保護者、教職員のみを対象にした小型の発表会です。バレー部・バスケットボール部は合同でミニゲーム、新体操部は団体演技の発表、マンドリン・吹奏楽・音楽の各部は演奏会、演劇部は朗読劇、ダンス部は春の公演で発表予定だった演目を縮めた公演、美術部は昇降口に2週間程度の展覧会と、各部の個性が現れた発表会になりました。

高校3年生の部員も発表の場を持つことができ、それなりに満足した様子でした。この発表会で気持ちを切り替えて、これまで部活動で培った力を自分の希望の進路に向けての推進力にしてほしいと思います。

（高校生徒会顧問　中原 克芳）

諸行事中止のお知らせ

例年行われております行事について、今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から、残念ながら中止させていただきます。

11月／中高文化祭
12月／女学院クリスマス
クリスマスコンサート・メサイヤ

●お問い合わせ／中高事務室
TEL／082-228-4131

幼稚園 Kindergarten

共に歩む

毎朝8時、聖句を唱え、主の祈りを捧げて園児を迎える準備をはじめます。今日も一人ひとりを丸ごと受け止め、個性を尊重し、試行錯誤を見守り、主体性を育み、小さな心の動きに心をとめることができるようにと願って。しかしながら、人間は弱いもので、見えるものに心奪われ、信じて待つことができずに口や手を出し、できていないことばかり気になります。対園児だけでなく、大人同士でも同じことを繰り返してしまいます。保護者にとっても、ご家庭で同じことに悩んでおられることでしょう。

「見えないものに目を注ぐ」、「一つの体多くの部分～みんなちがってみんないい」、「小さきものを尊ぶ」の聖句が園につながるすべての人に与えられています。弱さを抱えていても、み言葉という揺るがない羅針盤があるので、何度道に迷っても進むべき方向が示され、許し合い、支え合って共に歩んでいくことができます。ハレルヤ！

（幼稚園　園長　高田　憲治）

暑さに留意して草抜きを行いました

ふかふかの土に植えたよ！

大きくなりますように

大きくなりますように

5月末、年長児恒例の田植えをしました。「きもちいいー！」と素足で泥の感触を楽しむ子や、少し顔をしかめて恐る恐る歩く子、転ばないようにバランスをとりながら慎重に田植えをする子など様々な姿がありました。登園自粛の中、無事に全員が田植えをし、稲が大きく成長するように日々見守っています。

また同時期、全園児が畑でのサツマイモの苗植えもしました。トマトやキュウリの苗と比べて少し変わった形の苗に苦戦しながらも、友だちや保育者と助け合って苗植えをすることができました。神様の守りの中で大きく育ち、その恵みに感謝しながら美味しく頂ける日を子どもたちと楽しみにしています。そのためには畑に生える「雑草」（どれも神様に生命を与えられた草花にちがいないのですが）を取り除かなければなりません。そこで、保護者の方の中からお手伝いを募り、6月と7月に草抜きをしました。皆様のお働きに感謝です。

（幼稚園　白石　恵史）

デイキャンプ

今年は8月に、日帰り「デイキャンプ」として園だけではなく大学キャンパスを広く活用して行いました。歌を歌ったり1日の流れを確認したりして期待に胸を弾ませながら迎えた当日。大学のそばの川では、綺麗な石を見つけて「ダイヤみたい！」と宝探しを始めてみたり、細かい砂が溜まっているのを見つけて足を埋めたり手で握ったりして感触を楽しんでいました。日頃から植物や生き物と触れ合って遊んでいるからこそ、想像を膨らませ時を忘れて遊ぶことができるのだと改めて感動しました。普段、一緒に遊ばない子ども同士が楽しそうに遊んでいたり、初めてできるようになったものを自慢そうに見せてくれたりと子どもたちの新しい姿も見ることができました。1日中遊びつくして、「かき氷おいしかったね」「全部楽しかった！」「プール、また入りたいな」と最後まで笑顔であふれたデイキャンプでした。

（幼稚園　橋本　[illegible]）

友だちと一緒だと笑顔もひろがるね

「冷たい川の水、きもちいいね！」

好きなことに没頭する子どもたち

「かき氷、たくさんおかわりしたよ！」

校　　勢　　概　　要

（2020.5.1現在）

■専任教職員数

（単位：人）

所属		大学	中高			幼稚園	法人	計
種別	性別		中学	高校	計			
教員計	男	30	10	17	27	3	0	60
	女	27	23	16	39	8	0	74
	計	57	33	33	66	11	0	134
職員計	男	16	0	1	1	0	2	19
	女	46	3	2	5	0	0	51
	計	62	3	3	6	0	2	70

■学生・生徒・園児在籍数

（単位：人）

校部科		学年	1	2	3	4	小計	計
大学院	言語文化研究科（博士課程）	日本言語文化専攻	2	2			4	8
		英米言語文化専攻	0	0				
	人間生活学研究科（博士課程）	生活文化学専攻	2	1			4	
		生活科学専攻	0	1				
大学	大学人文学部	国際英語学科	44	62	73	–	320	1,310
		日本文化学科	51	47	43	–		
	大学国際教養学部	国際教養学科	–	–	–	118	118	
	大学人間生活学部	生活デザイン学科	83	70	90	–	294	
		生活デザイン・建築学科	–	–	–	51		
		管理栄養学科	71	64	84	65	284	
		児童教育学科	63	76	81	–	294	
		幼児教育心理学科	–	–	–	74		
高等学校			194	202	230			626
中学校			214	220	203			637
幼稚園			3年保育 68	2年保育 67	1年保育 74			209

★財産目録

（2020年3月31日）

区分	項目	数量・金額
一、基本財産		8,404,565,669円
1．土地	大学校地	202,472.33㎡ 581,008,581円
	高等学校校地	10,716.12㎡ 336,684,120円
	中学校校地	13,002.00㎡ 195,030,000円
	中高寄宿舎跡地	852.89㎡ 8,528,900円
	幼稚園校地	3,328.25㎡ 3,507,070円
	校外土地	524.00㎡ 262,000円
	計	230,895.59㎡ 1,125,020,671円
2．建物	大学建物	39,491.48㎡ 3,338,649,012円
	高等学校建物	11,093.55㎡ 1,295,400,259円
	中学校建物	7,895.59㎡ 537,192,675円
	幼稚園建物	1,592.61㎡ 167,776,758円
	法人建物	728.86㎡ 35,930,853円
	計	60,802.09㎡ 5,374,949,557円
3．構築物		249点 197,360,662円
4．教具・校具・備品		24,561点 401,065,638円
5．図書		195,109冊 1,304,817,693円
6．車輌		6台 1,351,448円
二、運用財産		2,199,720,857円
三、負債		2,908,227,927円
四、正味財産		7,696,058,599円

○2019年度財務三表

★資金収支計算書

（単位：円）

	科目	金額
収入の部	学生生徒等納付金収入	2,238,772,700
	手数料収入	40,949,758
	寄付金収入	114,598,735
	補助金収入	639,656,172
	資産売却収入	0
	付随事業・収益事業収入	24,867,100
	受取利息・配当金収入	1,518,020
	雑収入	65,341,742
	借入金等収入	0
	前受金収入	331,089,000
	その他の収入	147,038,203
	資金収入調整勘定	△ 360,474,185
	前年度繰越支払資金	1,051,470,928
	収入の部合計	4,294,828,173
支出の部	人件費支出	2,044,912,730
	教育研究経費支出	479,495,457
	管理経費支出	257,783,280
	借入金等利息支出	9,522,653
	借入金等返済支出	123,880,000
	施設関係支出	90,503,673
	設備関係支出	57,395,454
	資産運用支出	50,326,300
	その他の支出	253,888,382
	資金支出調整勘定	△ 82,642,466
	翌年度繰越支払金	1,009,762,710
	支出の部合計	4,294,828,173
支払資金の増減額		△ 41,708,218

★事業活動収支計算書

（単位：円）

		科目	金額
事業活動収支	収入の部	学生生徒等納付金	2,238,772,700
		手数料	40,949,758
		寄付金	57,323,994
		経常費等補助金	632,697,172
		付随事業収入	24,867,100
		雑収入	68,942,757
		教育活動収入計	3,063,553,481
		教育活動外収入	1,518,020
		特別収入計	71,579,834
		収入の部合計	3,136,651,335
	支出の部	人件費	2,034,121,625
		教育研究経費	934,714,740
		管理経費	264,203,425
		教育活動支出計	3,233,039,405
		教育活動外支出	9,522,653
		特別支出計	8,214,746
		支出の部合計	3,250,777,169
基本金繰入前当年度収支差額			△ 114,125,834
基本金組入額合計			△ 268,023,381
当年度収支差額			△ 382,149,215
前年度繰越収支差額			△ 10,497,210,835
基本金取崩額			0
翌年度繰越収支差額			△ 10,879,360,050

★貸借対照表

（単位：円）

	科目	金額
資産の部	固定資産	9,536,247,710
	有形固定資産	8,404,565,669
	その他の固定資産	1,131,682,041
	流動資産	1,068,038,816
	資産の部合計	10,604,286,526
負債の部	固定負債	2,279,363,641
	流動負債	628,864,286
	負債の部合計	2,908,227,927
純資産の部	基本金	18,575,418,649
	翌年度繰越収支差額	△ 10,879,360,050
	純資産の部合計	7,696,058,599
負債及び純資産の部合計		10,604,286,526

事務局 Secretariat

次期院長選任

学校法人広島女学院は、第184回理事会において、次期院長として広島女学院大学次期学長・三谷高康氏（桜美林大学教授・前桜美林大学学長）を選任いたしました。

三谷次期院長のもと、教職員一同法人運営に全力を尽くしてまいりますので、今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。

理事長　中川　日出男

会議報告

第182回理事会

2020年4月17日14時から開催。

【審議事項】

各種基金の2019年度決算の承認、2020年度各種基金事業予算案及び育児休業等に関する規程の改正について決定。

【報告事項】

学事報告、次期院長候補選考委員会の設置及び指名・選出された選考委員について、エンパワーメントセンターを大学の組織に位置づけ、エンパワーメントセンター長を設置すること等に伴う大学教職員職務規程の改正について報告。

第183回理事会

2020年5月22日14時から開催。

【選任事項】

理事長推薦理事として中川日出男現理事長を再任の後、理事長の互選を行った結果、現理事長の再任を決定。

【審議事項】

2019年度事業報告案及び決算、2020年度内部監査計画及び理事の競業について承認。

【報告事項】

学事報告、2019年度監事監査報告及び2020年度監事監査計画、2019年度内部監査報告、大学前広島電鉄バス停移設に伴いアイリスインターナショナルハウスを解体し、大学用地を広島市へ寄附するための資産処分、大学日本文学科「日本語検定」検定料給付規程の制定及び大学国際英語学科GSEコース選択学生特待制度規程の改正、3月退職者への退職金と慰労金の支給について報告。

5月定期評議員会

2020年5月27日14時から開催。

会議に先立ち、本年度議長として吉川評議員を選出。

【選任事項】

任期満了等による評議員及び評議員会推薦理事候補者の選出について決定。次期院長選任、監事の再任について同意。

【諮問事項】

2019年度事業報告及び決算について承認。文学部の廃止による寄附行為変更、バス停移設に伴い施設解体を行って大学用地を広島市へ寄附するための資産処分について承認。

【報告事項】

学事報告、2019年度監事監査報告。

第184回理事会

2020年6月26日14時から開催。

【選任事項】

評議員会より推薦のあった理事候補者、竹内路子氏（卒業生）、近久和彦氏（在学生父母）、城納一昭氏（学識経験者）及び次期院長として三谷高康次期学長の選任について決定。

【審議事項】

大学文学部の廃止による寄附行為の変更について決定。理事の競業及び特別任用教職員の任用に関する規程の改正について承認。

【報告事項】

学事報告、監事の選任、本学院の財務分析、新型コロナウイルス対策緊急支援募金開始について報告。

第185回理事会

2020年7月31日14時から開催。

【審議事項】

理事の競業について承認。

【報告事項】

学事報告、大学合同メソジスト教会女性局給付奨学金規程及び大学新型コロナウイルス感染症に伴う家計急変学生に対する授業料減免規程の制定について報告。

同窓会よりコロナ対策緊急支援募金をいただきました

広島女学院同窓会より、新型コロナウイルス流行による経済的影響で家計が急変した学生が、学業の継続を断念することなく、キャンパスで充実した学生生活を過ごせるよう、300万円の寄附をいただきました。

寄附金は、奨学金給付、学納金減免制度の拡充等のため、感謝して使わせていただきます。

同窓会からのお知らせ

■2020年ホームカミングデーについて

新型コロナウイルス感染拡大を受け、10月24日（土）に延期いたしましたが、感染収束の目途がたたないため、来年の4月24日（土）に再延期となりました。

テーマ：継承～ひとりひとりがそのピースに～
日　時：2021年4月24日（土）
　10:30～13:30
場　所：リーガロイヤルホテル広島
会　費：8,000円
　2021年1月、会報とともに再度案内状を送付いたします。

■同窓会バザー（中高文化祭）中止のお知らせ

2020年11月3日に予定されておりました同窓会バザーは中高文化祭の中止にともない開催を見送ることにしました。

●お問い合わせ／同窓会事務局
TEL・FAX／082-221-1059

第36回クリスマスコンサート・メサイア中止のお知らせ

このたび、2020年12月20日（日）に予定しておりました第36回クリスマスコンサート・メサイアの開催を中止することといたしました。

今回で36回目を迎えるはずであったメサイアコンサートは、皆さまと一緒にクリスマスをお祝いする本学院にとって重要な行事です。

しかしながら、このたびの新型コロナウィルス感染症の現状ならびに皆様の安全を考慮した結果、誠に残念ではございますが、今年度は中止とさせていただきます。

楽しみにお待ちいただいていた皆様には大変残念なお知らせとなりますことをお詫びいたしますとともに、何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

来年のクリスマスには再び皆さまと一緒にお祝いできますことを楽しみにしております。

学校法人広島女学院

●お問い合わせ／法人事務局総務課
TEL／082-228-0380

2020年度 保護者会 役員（敬称略・順不同）

大学協力会
会長　吉本美紀
副会長　中原友美　中倉恵子
理事　折本美貴　福本利江
　明珍由美子　政木政子
　野田久江　中沖智香
監事　栗栖美智子

中高PTA
会長　近久和彦
副会長　川岡紫帆　有田和子
　道佛一郎　坂井大輔
監事　佐々木明　八木秀彰
顧問　武田真吾

幼稚園みぎわ会
会長　枝光めぐみ
副会長　藤本直美
会計　加藤友美　望月葉月

教職員動静

9月20日受付分まで

誕　生

英汰（えいた）くん（為数夏実法人事務局財務課兼大学事務局会計課職員ご子息）2020・7・18
陽（よう）くん（田中佑真中高教諭ご子息）2020・7・29
芙実（ふみ）ちゃん（松岡咲絵中高教諭ご息女）

召　天

2020・7・31
應本秀子様（應本真由美図書課長代理ご岳母様）2020・5・21
清水芳枝様（中原克芳中高教諭ご母堂様）2020・5・31
石長眞三様（石長孝二郎大学人間生活学部教授ご尊父様）2020・6・29
松尾聰様（名誉理事）2020・7・3
高田公子様（高田憲治幼稚園長ご母堂様）2020・7・5
吉浦紀子様（元中高教諭）2020・8・16
平井美智子様（野中理恵中高教諭ご母堂様）2020・8・19
村上定様（村上和保大学人間生活学部教授ご岳父様）2020・8・21
澤村和雄様（澤村雅史大学共通教育部門教授ご尊父様）2020・8・26

人事

選　任

エンパワーメントセンター長（2020・4～2022・3）

細田 みぎわ
理事・理事長(2020・6・10〜2023・5・31)
中川 日出男
理　事(2020・6・1〜2023・5・31)
竹内 路子　近久 和彦
城納 一昭
評議員(2020・6・1〜2023・5・31)
渡邊 ゆかり　澤村 雅史
高見 知伸　渡部 新
久保木 裕子　入江 直子
竹内 路子　三善 純代
山中 映子　岸田 裕子
興儀 泉　中原 友美
近久 和彦　後藤 慧
水本 和実　蔵本 順子
谷﨑 隆士　田村 興造
城納 一昭　井上 友一
安達 春汀　吉川 浩司
橋本 真

退任

理　事(2020・5・31付)
大矢 みどり　深田洋介
評議員(2020・5・31付)
桐木 建始　村上 和保
古重 歌織　山口 裕子
金信 美幸　中島 久美
深田 洋介　佐々木 孝富
鈴木道子

日誌抄

4・1(水)　新任式・礼拝、オリエンテーション
4・6(月)　監査法人による現物監査
4・7(火)　中学校入学礼拝
4・8(水)　高等学校入学礼拝
4・9(木)　経営会議
4・10(金)　事務協議会
4・13(月)　幼稚園入園礼拝
4・16(木)　学院運営協議会
4・17(金)　理事会
4・28(水)〜30(木)
5・11(月)〜14(木)・18(月)
20(水)〜22(金)・25(月)〜27(水)　監査法人による会計監査
5・14(木)　経営会議
5・15(金)　事務協議会
5・18(月)　監事による監事監査
5・22(金)　理事会
5・27(水)　評議員会
6・4(木)　事務協議会
6・11(木)　経営会議
6・18(木)　学院運営協議会
6・26(金)　理事会
7・2(木)　事務協議会
7・9(木)　経営会議
7・16(木)　学院運営協議会
7・31(金)　理事会
8・6(木)　被爆75年平和祈念式
9・3(木)　事務協議会
9・10(木)　経営会議
10・1(木)　創立記念日

寄　附

9月20日受付分まで(敬称略・順不同)

桜の枝落とし・植栽業務
224,938円
広島女学院大学協力会

ガウン・帽子・フード保管料として
285,065円
広島女学院大学協力会

広島女学院メソジスト女性局
奨学金 給付型として
200,000円
公益財団法人ウェスレー財団

ゲーンス奨学金として
800,000円
広島女学院同窓会

アイリスセンター維持費
600,000円
広島女学院同窓会

特別支援金として
100,000円
広島女学院同窓会

生活デザイン建築学科のために
30,000円
広島女学院大学生活デザイン建築学科 五期生一同

中高教育充実のため
50,000円
広島女学院お父さんの会
20,000円
加藤 弘輝
野中 理恵
川鍋 元広
寺本 道生
俵 倫子
星野 ゆり
高見 知伸
吉田 祥子
星野 晴夫
石田 直子
重松 深雪
5,600円
小山 雅之
1,000円
重松 純

幼稚園の教育活動支援
50,000円
広島女学院ゲーンス幼稚園
みぎわ会

VISHバスキャッチシステム年間利用料として
118,800円
広島女学院ゲーンス幼稚園
みぎわ会

卒園記念として
216,000円
広島女学院ゲーンス幼稚園
2019年度卒園生一同

奨学金制度の充実のため
100,000円
井上 富紀子
30,000円
小林 秀亮
10,000円
中嶋 真保子

教育研究施設・設備の充実のため
50,000円
佐々木 敦紀
20,000円
市川 査知子
5,000円
清家 由佳里
1,000円
田村 直也

被爆ヴァイオリン借用お礼として
10,000円
東広島青少年オーケストラ
運営委員会

広島女学院のため(遺贈)
2,259,056円
故　德田昭子

広島女学院のため
1,000,000円
株式会社アボアエンジニアリング
20,000円
應本 真由美

その他一般
30,000円
藤井 真帆

現物寄附
(図書)
「多様性と向きあうカナダの学校」他1冊
中村 勝美
Advanced studies in economic sciences
広島修道大学
十字架のない教会
荒川 純太郎・奈津江
ストラスブールは霧の中
片山 美代子(葉山 弥世)
漱石と広島
冨沢 佐一
ヒロシマの河
土屋 時子
森鴎外と村山槐多の「もや」
佐々木 央

現物寄附
(保育活動のために)
CDコンポ
ノートPC(VAIO VJS132C12N)
横沢 政人
(園児の情報管理のために)
i-pad
高田 憲治
(教育充実のため)
デスクトップパソコン
妻木 陽子

創立130周年記念募金
400,000円
大矢 みどり
100,000円
湊 義和
湊 恵子
50,000円
宍戸 露子
30,000円
岡崎 智恵子
20,000円
足立 直子
豊原 昭子
10,000円
久保 徹治
折本 光枝
熊坂 美津子
隅田 知宏
吉本 美紀

新型コロナウイルス対策緊急支援募金
3,000,000円
広島女学院同窓会
100,000円
中川 日出男
湊 晶子
村上 和保
本廣 賢吾
50,000円
坂野 康文
30,000円
田村 興造
市川 査知子
小林 秀亮
10,000円
谷﨑 隆士
野村 知未
1,000円
桑田 俊充

編集後記

2021年度、幼稚園は開園から130周年を迎えます。その記念としてこれまでの歩みを振り返り、これからの幼稚園とその働きを展望する本を3冊つくることにしました。そのうちの1冊(第1弾)「水辺の物語」がこの度、完成しました。次号で詳しく紹介する予定です。小さな本に詰まった神と共にある働きを、多くの人と分かち合うことができればと願っています。幼稚園のHPを覗いてみてくださいね。

(幼稚園　久保木 裕子)

2020年度 ゲーンス学術奨励 受賞者

〈国際教養学部〉
国際教養学科／折本鞠香

〈人間生活学部〉
生活デザイン学科／下家 栞奈
管理栄養学科／橋本 彩実
幼児教育心理学科／厚井 みのり

広瀬ハマコ記念基金のご案内

広瀬ハマコ先生は、校母ナニ・B・ゲーンス先生から直接薫陶をうけられました。その期待に応えられ、園長、学長、院長、理事長として36年間に渡り、本学院発展のために尽力されました。

1988年にご召天。その後、私財は先生のご遺言により本学に寄附され、「広瀬ハマコ記念奨学基金」の制度がうまれました。基金の運用益をもって次の事業を行うと定めています。

一．本学院の教壇に卒業生の人材を確保するための奨学金を支給する。

二．留学を希望する内外学生、生徒の学費を援助し国際化を促進する。

応募については次の通りです。みなさま奮ってご応募ください。

●応募条件／本学(高校、大学)卒業生で国内外の大学院在学者
●選考／本人申請により3月・9月に行います。
◎詳細お問い合わせは、法人事務局財務課へ
☎082―228―0387

ご寄付のお願い

2020年4月よりクレジットカード決済に対応したインターネットからの寄付金募集を開始しました。皆さまには引き続き格別のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

詳細は学校法人広島女学院ホームページ(https://www.hju.ac.jp/houjin/donation/)をご覧ください。

お問い合わせ／財務課 TEL.082-228-0387

コチラからアクセスいただけます

2021年度 学生・生徒・園児 募集要項

キリスト教精神に基づいた教育を目指して

大　学

〒732-0063 広島市東区牛田東四丁目13-1　電話:082-228-0386(代)　FAX:082-228-7815

◆募集人員

〈人文学部〉

- ●国際英語学科[GSE*コース・英語文化コース] …… 65名
- ●日本文化学科 …… 40名

＊GSE…Global Studies in English

〈人間生活学部〉

- ●生活デザイン学科 …… 65名
  [生活プロデュース／被服・ファッションデザイン／インテリア・住居・建築デザイン／地域デザイン]
- ●管理栄養学科 …… 70名
- ●児童教育学科[幼児教育コース・児童教育コース] …… 90名

◆入試日程等(詳しくは、ホームページ・入試ガイドをご覧ください。)

(2020年11月以降実施の入試日程)

入試区分	出願期間		試験日	合格発表
	インターネット出願期間	出願書類提出締切		
指定校制推薦入試	2020年11月2日(月)～11月14日(土)	ホームページ・入試ガイド参照	2020年11月21日(土)	2020年12月 1日(火)
公募制推薦入試 第1回	2020年11月2日(月)～11月16日(月)		2020年11月22日(日)	2020年12月 1日(火)
公募制推薦入試 第2回	2020年12月1日(火)～12月14日(月)		2020年12月20日(日)	2020年12月26日(土)
特待生入試	2021年 1月6日(水)～ 1月26日(火)		2021年 2月 2日(火)	2021年 2月16日(火)
一般選抜入試前期日程	2021年 1月6日(水)～ 1月26日(火)		A日程:2021年2月2日(火) B日程:2021年2月3日(水) C日程:2021年2月5日(金)	2021年 2月16日(火)
一般選抜入試後期日程	2021年 2月16日(火)～ 3月2日(火)		2021年 3月 6日(土)	2021年 3月11日(木)
大学入学共通テスト利用入試	A日程:2021年1月 6日(水)～1月29日(金) B日程:2021年2月16日(火)～3月 2日(火) C日程:2021年3月11日(木)～3月18日(木)		大学入学共通テスト 2021年1月16日(土)・17日(日) 1月30日(土)・31日(日) (本学での個別学力試験は課さない)	A日程:2021年2月16日(火) B日程:2021年3月11日(木) C日程:2021年3月20日(土・祝)

＊オープンセミナー型入試、活動評価型入試の本年度の出願期間は終了いたしました。＊上記以外にも、特別入試(社会人、帰国生徒、外国人留学生)、転・編入試も行っております。

大学院

【資料請求】 広島女学院大学　入試課
電話:082-228-8365(直)　URL▶https://www.hju.ac.jp/　E-mail▶nyushi@gaines.hju.ac.jp

◆募集人員(男女共学／社会人・外国人留学生可、定員は春季・秋季計)

〈言語文化研究科〉

- ●日本言語文化専攻 修士課程 …… 6名
- ●英米言語文化専攻 修士課程 …… 6名

〈人間生活学研究科〉

- ●生活文化学専攻 修士課程 …… 6名
- ●生活科学専攻 修士課程 …… 6名

◆春季入試日程

出願期間:2021年2月15日(月)～2月24日(水)　郵送必着
試験日:2021年3月 3日(水)
合格発表日:2021年3月11日(木)

中学校

〒730-0014 広島市中区上幟町11-32
電話:082-228-4131　FAX:082-227-5376

- ◆募集人員／200名(5学級)
- ◆応募資格／2021年3月 小学校卒業見込みの女子。
  出願時、広島県および山口県東部在住の者。これ以外の地域から出願される場合は他の手続きあり。
  詳細は「2021年度生徒募集要項」を参照のこと。
- ◆出願期間／2020年12月7日(月)より2020年12月31日(木)
- ◆出願方法／本校HPより出願の手続きを行い、期日までに必要書類を郵送のこと。
- ◆試験期日／2021年1月23日(土)
- ◆選考の方法／(1)筆記試験
  (2)提出書類の審査
  (3)面接による審査
- ◆合格発表／2021年1月24日(日)

幼稚園

〒732-0063 広島市東区牛田東四丁目13-1
電話:082-228-6635　FAX:082-224-3141

- ◆募集人員／3歳児　60名
  4歳児　若干名
- ◆願書受付／2020年10月 1日(木)
  本年度は終了しました。
- ◆入園面接／2020年10月14日(水)
  本年度は終了しました。
- ◆入園手続／2020年10月19日(月)
  本年度は終了しました。

広島女学院報191号／学校法人広島女学院発行
〒732-0063 広島市東区牛田東四丁目13-1 TEL:082-228-0380(法人総務課)　HP▷https://www.hju.ac.jp/houjin/　E-mail▷soumu@gaines.hju.ac.jp
バックナンバーがコチラからご覧いただけます▶